



北杜市民自主企画講座

ひととことばの対話塾 一般募集のお知らせ

ひととことばの対話塾は、それぞれの興味・関心についての語りあいを通して、自分の考えていることを相手に伝えようとする意志、相手からの反応を寛容に受け止める態度、他者とともにある社会のあり方などについて考える時ときと場ばをつくります。

ここでは、参加者全員で、グループ発表やディスカッションそして文章作成等の活動を行い、まとめの冊子を作成・刊行・公開します。

対象：どなたでも参加できます（話し合いに参加できれば12歳くらいから可能です）

参加費：毎回一人1000円（当日資料代および冊子作成の印刷製本代の一部とします）

スケジュール：

- 1回 9月28日（木）10:00-12:00
- 2回 10月26日（木）10:00-12:00
- 3回 11月30日（木）10:00-12:00
- 4回 12月21日（木）10:00-12:00

場所：シュマン・デュ・ボヌール（北杜市長坂町白井沢 3137-44）

・八麓自工さんの小淵沢寄りの細い砂利道を400メートルほど北上、動物の壁絵のある、右手奥の建物です。砂利道の入り口にある小さな手作り看板が目印です。

活動の内容：

- 1回 全体の説明** この対話塾の活動とそれぞれの作業・スケジュール等についての説明を行い、十分にご理解が得られるよう質疑応答を行います。
- 2回 動機と理由** 自分の興味・関心のあるモノ・コト・ヒトなどについて語り、その動機・理由を述べて、グループで話題を交換・共有します。
- 3回 対話と共有** 自分の話題をめぐって信頼できる相手と対話し、その内容をグループで交換・共有します。
- 4回 まとめとふりかえり** 初めの興味・関心から対話による内容の発見までのプロセスを振り返り、これから、「この私」が、さまざまな他者と、この社会でどのように生きていくのか、そのために、自己・他者・社会にとって何が重要かを考えます。

・活動内容のとおり、講義形式の講座ではありません。一人一人の発言、語りを中心に、参加の輪を大切にしながら活動はすすみます。月1回の講座のため、インターネットを活用してやりとりを活性化したいと考えています。できるだけ継続的な参加をお願いします。

お問い合わせ・連絡先：hosokawa@waseda.jp または 080-5544-8145（ほそかわ携帯）





このチラシを手にとった方へ—対話塾の活動について

自分の希望進路をどう選び、どのような仕事についていったらいいのかと迷う若い世代の青少年、学校は出たけれど、現在の生活や仕事などで何となく不満や不安を抱えている人たち、これからの人生のさまざまな局面において危機感を持ち、これを乗り越えるために何かを考えようとしている、そうしたすべての方々に向けて、この対話塾は開かれています。

【これまでの参加者の声から】

正直最初は対話塾に参加しようかどうか、迷っていました。

もう少し話すのがうまくなりたいとは思いつつも、自分に対話なんかできるかと思っていました。でも、やれば何とかなるだろうし、無理なら無理でもいいかという思いで参加を決めました。最初は自分の興味関心についてを動機文にまとめる作業なのですが、普段意識している物事の中でかなり苦手としているものだったので非常に焦りました。

しかし、自分で思っていたよりも自分の気持ちを書けていたように思います。(中略)文章を考えるというのは時間があって、気分が乗っているときでないといけないので、とても苦勞しました。なのでどれくらいの仕上がりのかわかりませんが、自分はこの機会を得られたことで自分の気持ちを十分に吐き出せたと思っているので満足しています。

何とかなるという可能性を信じてきた結果だと思えます。

なのでこの企画に関わっていただいた皆様に感謝しています。

ありがとうございました。

この塾は、20年以上にわたる早稲田大学での教育研究の成果を、ひろく学習や教育に関心をお持ちのみなさまと共有し、ともにはぐくみながら、いわば、大学と地域・社会を結ぶための実践の場として構想・開設されました。

これまでの活動実績として、早稲田大学本庄高等学院での実践記録『わたしを語ることばを求めて—表現することへの希望』(牲川波都季・細川英雄、三省堂 2004)、留学生のための総合活動型日本語教育の方法論『考えるための日本語—実践編』(細川英雄・武一美ほか、明石書店 2006)、山梨県北杜市立甲陵高校総合活動文集『わたしの興味とあなたの思い—今の自分を見つめ直す 1 冊の本』(2014)などがあります。

担当者紹介: ほそかわひでお(細川英雄) 1949年東京生れ。1991年より北杜市在住。博士(教育学)。早稲田大学大学院日本語教育研究科教授を経て、現在、早稲田大学名誉教授。言語文化教育研究所ハケ岳アカデミア主宰。専門は言語文化教育学、自律した個人の主体的な言語生活のあり方をテーマとする。主な著書として『日本語教育は何をめざすか—言語文化活動の理論と実践』(明石書店 2002)・『ことばの市民になる—言語文化教育学の思想と実践』(ココ出版 2012)などの他に、エッセイに『薪ストーブのある暮らし—ハケ岳南麓・森の家から』(筑摩書房 1995、共著)・『土間犬物語—ハケ岳南麓・薪ストーブのある暮らしから』(沐日社 2008、共著)がある。言語文化教育研究所ホームページ：<http://gbki.org/>

